

丸山武夫 まるやま たけお ドイツ文學者。明治二十七年七月十九日群馬縣生乳

(一九〇四)。昭和八年東京帝國大學文學部獨文科卒。第五高等學校、

松本高等學校、東大教養學部各教授歴任。

譯著書の、コンラート・ハーム著『獨逸の民族』(譯、昭和十七年七

月十日海南書房)、フリードリッヒ・シラー著『オランダ獨逸史』全

二冊(譯、上・昭和二十四年八月十五日、下・十一月二十日岩波書店

「岩波文庫」)、ロドイッ短篇集(共譯、桐原守峯編、昭和二十八

年四月十五日河出書房「市民文庫」)、『ゲーテ詩集神と世界』(公著・

小牧健夫編、昭和二十九年四月二十日第二書房)等。

